

平成26年度 薬剤師研修講座のご案内

※ 本学薬学部同窓会員は期日までにお申込みの場合、受講料が半額になります。詳しくはホームページでご確認ください。

■申し込み方法

※ 定員になり次第、締め切りといたします。

【北海道医療大学 薬剤師支援センター ホームページ】
<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p-support>

上記ホームページのトップページ「薬剤師研修講座」申込フォームより必要事項をご入力の上、送信してください。
 ※ お申し込み後、一週間経過してもメール返信がない場合は、事務局（下記）まで電話にてご連絡願います。

詳細情報は決まり次第、随時ホームページに、掲載いたしますので、是非ご覧ください。

薬剤師支援センター事務局

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
 TEL : 0133-23-1211[内線2143] / FAX : 0133-23-1669
 E-mail : p-support@hoku-iryu-u.ac.jp

薬剤師演習講座 抗菌薬適正使用のポイント 【認定単位：1単位】

① **7月30日(水) 18:30～20:00** 会場：ACU 小研修室1212 (アスティ45 12階) 受講料：一般2,000円/同窓会員1,000円[要予約]

抗菌薬TDMガイドラインの活用 市立札幌病院 薬剤部 大下 直宏
 抗菌薬の適正使用について、2012年に発表された「抗菌薬TDMガイドライン」を中心に解説を行い、「どのようにガイドラインを活用していけば良いか」を実際の症例をもとに演習していただきます。

② **9月18日(木) 18:30～20:00** 会場：ACU 小研修室1212 (アスティ45 12階) 受講料：一般2,000円/同窓会員1,000円[要予約]

抗菌薬適正使用 ～はじめの一步～ 中村記念南病院 薬剤部 山田 和範
 抗菌薬適正使用といっても各施設でそのアプローチの仕方は多様です。本セミナーでは現状の環境でどこからその一步を踏み出し、日常の抗菌薬適正使用につながるアプローチができるか演習を通し考えてみたいと思います。

③ **11月21日(金) 18:30～20:00** 会場：本学 札幌サテライトキャンパス (アスティ45 12階) 受講料：無料

抗菌薬の適正使用と抗菌薬使用量の評価法 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 丹羽 隆
 抗菌薬使用量の集計法として、欧米で注目されているDays of therapy (DOT法) を、汎用されているATC/DDDシステムによる集計法 (DDD法) と比較しつつ、DOT法を利用した抗菌薬使用量の新たな評価法を紹介します。

定員：各回30名程度

将来ビジョン講座 時代遅れの薬剤師にならないために 【認定単位：1単位】 ※ 第4回のみ2単位

① **7月2日(水) 18:30～20:00** 会場：ACU 大研修室1606 (アスティ45 16階) 受講料：一般2,000円/同窓会員1,000円[要予約]

共同薬物治療管理 ～医師と薬剤師の新たな連携～ ファルメディコ(株) 代表取締役社長 狭間 研至
 薬学教育の6年制への移行、調剤報酬の在宅へのシフト、薬剤師の病棟常駐など、薬剤師を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。超高齢社会を支える次世代型の薬剤師の在り方について、新しい地域医療戦略の観点から医師、薬局経営者の立場からお話します。

② **8月6日(水) 18:30～20:00** 会場：ACU 中研修室1206 (アスティ45 12階) 受講料：無料

在宅医療における多職種連携 医療法人孝佑会 ごう内科クリニック 院長 鈴木 郷
 在宅医療において多職種連携は重要なキーワードのひとつであり、地域でのネットワークの活動が重要です。しかし、薬剤師の参加が少なく、薬物治療の専門家として積極的な参画を希望し、医師の立場からお話します。

③ **9月3日(水) 18:30～20:00** 会場：ACU 中研修室1206 (アスティ45 12階) 受講料：無料

地域医療で責任をはたせる薬剤師 大北健康堂薬局 大橋 得二
 今、薬剤師・薬局の真価が問われる大きな岐路にさしかかっています。在宅医療を特別な医療とせず、かかりつけ薬局として地域の期待に応えるための沖縄県北部地区での在宅サポート薬局制度の取り組みについてお話します。

④ **10月4日(土) 15:00～18:00** 会場：本学 当別キャンパス 受講料：無料

ワークショップ：
今、働いている地域医療に関心はありますか？
地域医療に必要とされる薬剤師を描けますか？

そらちぶと調剤薬局 福地 隆康

定員：[第1回]100名程度 / [第2・3回]80名程度

臨床薬学講座・地域医療講座 (4回シリーズ)

慢性腎臓病 (CKD) 患者へのファーマシューティカルケア

【認定単位：1単位】

新たな国民病とも言われる慢性腎臓病 (CKD) 患者に対して、薬剤師はどのようなケアを実践すればよいのでしょうか。本講座では、CKDの基本的知識と臨床で活用するためのポイントを解説します。

会場：本学札幌サテライトキャンパス (予定)

1 11月～12月頃 18:30～20:00

受講料：無料

中部ろうさい病院における腎臓病患者への薬学的アプローチ (仮)

(予定) 中部ろうさい病院 薬剤部長 長谷川 功

2 1月頃 18:30～20:00

受講料：一般2,000円/同窓会員1,000円[要予約]

CKD患者に対する薬学的アプローチ (1) CKDの治療法と予後

本学薬学部 教授 小林 道也

3 2月頃 18:30～20:00

受講料：一般2,000円/同窓会員1,000円[要予約]

CKD患者に対する薬学的アプローチ (2) CKDに対する治療薬

本学薬学部 教授 小林 道也

4 3月頃 18:30～20:00

受講料：一般2,000円/同窓会員1,000円[要予約]

CKD患者に対する薬学的アプローチ (3) CKD患者への処方設計

本学薬学部 教授 小林 道也

定員：各回30名程度

文部科学省選定 がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン 連携講座

こちらの講座についてのお申込み・お問い合わせ先は下記ホームページをご覧ください。

【本学 がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン ホームページ】

<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~gakumu/gp/ganpro/>

地域がん医療薬剤師養成基礎講座

【受講料：無料】

1 9月25日 (木) 18:30～20:30

会場：ACU 中研修室1205 (アスティ45 12階)

認定単位：1単位

シンポジウム：チーム医療の実際① がん化学療法 ～NTT東日本札幌病院を例として～

1. 医師の立場から 西尾 充 史 (血液・腫瘍内科 部長)
2. 看護師の立場から 山中 こずえ (化学療法室/がん化学療法看護認定看護師)
3. 薬剤師の立場から 浅野 順 治 (薬剤科 薬剤主任/がん専門薬剤師)
4. 総合討論

2 11月14日 (金) 18:30～20:30

会場：ACU 中研修室1205 (アスティ45 12階)

認定単位：1単位

シンポジウム：チーム医療の実際② 緩和医療 ～東札幌病院を例として～

1. 医師の立場から 小池 和 彦 (副院長/緩和ケア科部長/日本緩和医療学会暫定指導医)
2. 看護師の立場から 青田 美 穂 (東棟緩和ケア病棟 看護課長/緩和ケア認定看護師)
3. 薬剤師の立場から 和泉 早智子 (薬剤課 係長/日本緩和医療学会認定薬剤師)
4. 総合討論

3 2月28日 (土) 13:00～16:30

会場：札幌市内ホテル (予定)

認定単位：2単位

第4回 がん薬物療法研究討論会

発表者：北海道内10数病院 薬剤師

定員：[第1・2回]50名程度 / [第3回]150名程度